

事業所における自己評価結果(公表)

公表日 平成31年 2月 8日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	13	5	できるだけ荷物をコンパクトに集めて、少しでも広く使用できるようににはしている。片付けもこまめに行う 整理整頓を心がけできるだけ広いスペースをとっている 狭い(2人) 中学、高校生の利用者様が多い日はどうしてもスペースが狭い	狭いので整理整頓し、少しでも広いスペースを確保できるようにしていきます。
	② 職員の配置数は適切である	16	2	職員が余る日がある。加算のためでも利用者様1人に職員配置4人は多すぎる 動く子がいると足りない 医ケア度が高い日は看護師を多く配置するため、どうしても過剰になりがち 利用者のキャンセルにより、ムラがでてしまう	適切に配置します
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	18			施設として建てられた建物ではないため不十分な点はありますが、工夫することで使いやすい空間作りをしていきます
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また子ども達の活動に合わせた空間となっている	18		可能な限り物を減らしている。フロアマットを敷くことで、横になっていても痛くないようにした	清潔で心地よい環境にしていこう心掛けていきます
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	2	特定の職員で話すことが多い。浸透させるために説明は行うようにしている。 勤務日が限られているので、その範囲内でのこととなるが、提案した場合にはよく話を聞いてもらえていると思っています	非常勤職員もしっかり参画できるように対策していきます
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	18			評価表とめろでいアンケートの意見を取り入れ改善できるところは早く改善をしていきます

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	18			今までは結果を保護者様に配布していたが、今年からホームページで公開します
	⑧	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげている			第三者評価がまだできていない。 外部評価を受けていない	第三者評価は行っていません
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	18		年1回は職員が何らかの研修に参加できている。(事業所を閉める)	外部、内部研修を行っています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画が作成している	18			職員の意見と保護者様のご希望を取り入れ作成しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	17	1		使用しています
	⑫	児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15			ガイドラインに沿って設定しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18		計画に沿って個別活動で支援が行われている	行われています
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	13		保育士を中心に活動を決めている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15			いろいろ工夫しています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	15			小集団ではあるが組み合わせで作成しています
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	1	常勤さんはやっていると思います 勤務開始前に確認しています できたりできなかつたり 打ち合わせができない日も、ボードの活用により役割分担ができるように工夫されている 非常勤にも情報がほしい	常勤職員のみになっていることが多いので非常勤さんにも情報を伝えていくようにしていきます

	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	6	必ずではない 早く上がらせてもらっている のでわかりません 朝の報告などあったら嬉しい 全体での打ち合わせはしていないが、気付いた点はその都度言うようにしている できる日とできない日がある	非常勤も含めて全員でやるのは難しいが、その都度意見交換をし共有していきます
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	18			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	1		それぞれの職種の職員から意見を聞いて評価・見直しを行っています
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービ担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12			
	㉒	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12			必要時行っています
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	15			特に問題が生じた時には関係者会議が行われています
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	15		個人差が大きく、全員ではない。緊急時には連絡できるかもしれないが、日常的な連携はない。 指示書は主治医からもらうようにしている	主治医指示書は全員、必要時情報提供書をいただいています
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	5		現在移行出来る児がいないです
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	5		学校との情報共有は難しいです
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1		他事業所と連携しています

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	2	10		感染のリスク等により保護者様からはご希望がないため行っていません。散歩時近隣の保育園児と触れ合う機会はある
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	10		自立支援協議会の会員ではなく、その他の会議も参加していません。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	18		自宅での様子や他施設での様子を必要時は家族に確認。日々の活動やケアで気になることやできたことはその都度話す	送迎時に保護者様と児の状況について話しています
保護者への説明責任等	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3	10		
	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18			今後も丁寧な説明をしていきます
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	1	自身では経験していないが、他のスタッフがしているのを見たことはある	今後も分かりやすく説明していきます
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16			時期を決めて定期的に相談は行っていないが、適宜必要時行っています
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携が支援している	8	4	父母の会が「めろでい」ではない。保護者会を開催している間、子どもは誰がみってくれるのか？ 父母の会はない。保護者会を開催するが出席してくれる親御さんはほぼ固定	都立多摩療育園で保護者同士の連携がとれているので、めろでいでは行っていません
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15		自身では対応できないため、上司につないでいる	相談のご希望時は相談室で対応しています
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18			保護者・賛助会員等に向けた通信と利用者様対象のお手紙で発信しています

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	18			気を付けています
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16			配慮しています
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	12		地域住民を招待できるような行事は行っていません
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実地している	15	1	緊急対応マニュアルがない。感染防犯はあるが訓練はほとんどできていない。	様々な災害を想定した訓練を計画・実行していきます
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	15	1	年2回避難訓練はしているが、すべての災害に対してはできていない	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	18		予防接種は契約時に聞き取り、記録に残してある。日々の発作等についてはその都度確認。	契約時にすべて確認しています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17	1		食事は提供していないので指示書に書かれるようなことはない。保護者からの情報により対応している
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18			職員全員が共有しています
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	16			毎年チェックリストを行っています
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15		椅子に座っている時間を記録に残しています	個別支援計画と、日々の記録に記載しています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者様からの事業所評価の集計結果 公表

公表日 平成 31 年 2 月 8 日

保護者数 32 名 回収数 20 名 割合 62%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	7	1	1	少し狭いかなと思います。	子どもと職員は1:1以上なので狭く感じると思います 利用児童の私物を整理整頓し、少しでも広いスペースを確保できるようにしていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2		1		重心児施設や特別支援学校を経験してきている職員が多いですが、今後も研修を行いスキルアップしています
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切か	19	1				施設として建てられた建物ではないため、狭いし不十分な点はあると思います。工夫していきたいと思えます
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。子どもの活動に合わせた空間となっているか	8	1				清潔で心地よい環境であるよう心掛けてまいります
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20					保護者様からの要望と子どもの現状の評価をして計画を作成しています。
	⑥ 児童発達支援計画にはガイドラインの「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			2		ガイドラインに沿って作成しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1				支援計画に沿って支援を行っています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	2		2	工夫されたりも、同じようでもあるかと	保育士を中心に計画を立てています。今まで以上にいろいろな経験ができるよう工夫していきます。
	⑨ 保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	8	4	・ないけど、なくて良いと思う ・特性を考えた上で、特に希望していないので、このままでよい ・実際のところこ	保護者様からのご意見にもあるようにあまりご希望はありません。けやきの森学園で近隣の学校の生徒との交流があります。児童発達支援は感染症の問題もあり、保育園児との交流は難しいと思えます。

							の点はあまり望んでいません。 ・必要ないと思います	お散歩へ行くと保育園児に会ったりするので、その時には公園で交流しています。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1				これからも丁寧な説明を心がけてまいります
	⑪	ガイドラインに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	1		2		保護者様にガイドラインの説明はしていませんが、計画書をお見せしながら説明をしています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラムが行われているか	1	1	3	4		「家族支援プログラム」は行っていません
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2				ご利用時に状況をお伝えしたり、保護者様からのお話をお聞かしています。今後も丁寧に行ってまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4	2			送迎時(保護者様が来所した時、めろでいが送迎した時)に必要な場合は相談支援を行っています。個別支援計画の見直し時は面談をしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	8	3	3	子をみていただければ参加できますが ・年1回の保護者会のみかなと思いますので、もう少しあればよいです。	父母の会は多摩療育園にあるので、めろでいで作ると保護者の負担が大きくなってしまいます。保護者会は1年に1回開催していますが、多摩療育園の通園日がそれぞれ違うため、保護者会開催日の設定が難しく、参加者が少ないです。
	⑯	保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに保護者に周知説明され、迅速かつ適切に対応されているか	13	5		1	・おたよりで状況を詳しくお知らせ頂いていると思う。	申し入れについては1年に1回アンケートを行い、皆様からのご意見をいただき、改善できる点については改善しています
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4				保護者様に対しては専門用語を使わず、わかりやすい言葉で説明をしています。子どもに対しては、本人の意思の表現方法を考えたり、はいいいえの返事をスイッチを使ってできるようにしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を保護者に対して発信されているか	20					不定期なメロディ通信の発行、利用者様に2～3か月に1回お知らせのお手紙を配布。自己評価の結果は昨年度まで保護者様に配布。今年度からホームページで公表します。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分	18	2			・記録は見える	めろでい記録が見えるというご指

		注意されているか				状態の時もある ので	摘があったため、ファイルを変更し 記録が見えないものにしました。 その他の個人情報についても注 意していきます。
非常時等 の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防 犯マニュアル、感染症対策 マニュアル等を策定し、保護 者に周知・説明されている か。また訓練が実地されて いるか	17			3	説明は契約時のみ。玄関に置い てあるファイルにマニュアルはす べて入っています。周知できるよ うお手紙で発信していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定 期的に避難、救出、その他 必要な訓練が行われている か	12	5		3	・回数は少ない かなと思います  実際にけやきの森学園まで行く避 難訓練は年2回行っています。 様々な災害や防犯についても訓 練を計画実施していきます。その 様子をお手紙でお知らせします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにして いるか	17	2		1	だんだん慣れて きている
	㉓	事業所の支援に満足してい るか	20				子どもに楽しみにしてもらえるよ う、保護者様にご満足していただ けるようご意見をいただきながら 改善していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計した者です。